

News from Onishi Junior High School

鬼石中だより

自立・貢献

藤岡市立鬼石中学校
令和7年度学校だより 第3号
令和7年6月17日
文責：校長 五十嵐

* 藤岡多野中体連夏季大会 6/8～14 「鬼石中の勝利の方程式」*

3年生にとって最後の大会となる、夏季大会が、6月8日、14日に各会場で行われました。本校からは陸上、ソフトテニス、野球、新体操、サッカー（拠点校：東中）の5種目に出場しました。

大会前日の壮行会では、昨年度の大会から意識してきた「鬼石中の勝利の方程式」→ 心 × (技+体+智) = 結果」を改めて確認し、チームワークや絆で生み出したパワーで「心」の数値を最大にして勝負に臨んでほしいと校長からエールを送りました。

大会当日は勝利の方程式を意識し、どのチームよりも声を出し、全力でプレーする鬼石中生の姿が各会場で見られました。また、応援の声も含めチームワークや絆も抜群でした。

県大会に駒を進めた選手は、今度は、藤岡市の代表としてがんばってほしいと思います。



* 校内少年の主張大会 6/5 *

6月5日(木)に校内少年の主張大会が行われ、各学年から選ばれた7名の代表生徒が発表しました。中学生らしい新鮮な感覚で、広く、深く周囲を見つめ、自分の考え方や行動を見直したり、周りの人を思いやったり、自分の将来やこれからの社会を展望したりして、前向きに自分の生き方を切り拓いていこうとする強い姿勢や決意が、どの生徒の主張からも感じられました。また、それらの考えが自己の成長にとどまらず、よりよい社会や集団を作っていくための魅力的なアイデアとして示されていることにも、感心しました。主張を聞いた他の生徒たちは、同世代の仲間の様々な意見や考えに触れ、印象に残った主張と自分と関連づけて考え、自己の成長につなげてほしいと思います。

審査の結果、 さん(3年)と さん(3年)が最優秀賞を受賞しました。2人は、6月28日(土)に市民ホールで行われる藤岡市少年の主張大会に、鬼石中代表として出場します。



*** 人權集中學習 6/3~13 ***

6月3日から14日までの2週間、前期人権集中学習を実施し、人権について考える様々な活動に取り組みました。集中学習のスタートとして、初日に以下のような校長の人権講話を行いました。

「五事を正し良知を磨く」(6月朝礼=前期人権集中学習 校長講話より)

昨年度の人権集中学習では、相手を思いやり、お互いが気持ちよく過ごすための精神が満ちあふれている「江戸しぐさ」に習って、「鬼石中しぐさ」を実践しました。

学校の中は江戸の町のように人口密度が高い場所なので、色々な人との関わりがあります。ですから、江戸しぐさの精神の基づいた行動、すなわち、相手を思いやり、お互いが気持ちよく過ごすための行動を「鬼石中しぐさ」と命名し、このような行動を鬼石中生も自然にできるよう、実践を呼びかけ広めてきました。



今日から前期人権集中学習が始まります。人権集中学習の目的は「互いの違いを認め、他者との関わりを考えることで、人権意識の向上を図る」ことです。言葉・行動・考え方の違いを乗り越え、相手の立場になって考えることが共生の第一歩です。仲のよい人、気の合う人ばかりではないので、相手の立場で考えることは簡単なことではあ

りません。でもそんな時は、江戸しぐさの精神に基づいた「鬼石中しぐさ」を通して、相手を大切にるところから始めましょう。そこで、今日は、相手を大切にする人になるための基本姿勢を話します。

人は、だれでも「良知(りょうち)」という美しい心を持って生まれます。この美しい心は、だれとでも仲よく親しみ合い、尊敬し合い、認め合う心です。ところが人々は、みにくいいろいろな欲望が出てきて、つい良知をくもらせてしまいます。私たちは、自分のみにくい欲望に打ち克って、良知を鏡のようにみがき、その良知に従い行いを正しくするよう日々努力することが大切です。

「五事を正す」という言葉があります。「五事を正す」とは、近江聖人、中江藤樹の教えです。藤樹は、人がもともと持っている美しい心（良知）を常に輝くものにするために、「知」を磨き「徳」を高めよ、と説きました。そして、この時に大切なことを、「五事」として次のように示しました。

「貌(ぼう) = 優しい表情」 「言(げん) = 丁寧な言葉遣い」 「視(し) = 温かい眼差し」

「聴(ちょう) = 熱心な聴き方」 「思(し) = 親切な心」

五事を正し良知(美しい心)を磨くことで、だれとでも仲よく親しみ合い、尊敬し合い、認め合う心を持った、「相手を大切に
にする人」となっていくのです。

「相手を大切にする人」になるための第一歩として、まずは、鬼石中生一人一人が五事を正し、良知を磨き、これを表現できるようにしよう。そして、相手を大切にする精神をかたちにした「鬼石中しぐさ」を積極的に実行し、学校の文化として定着させよう。

今日からの人権週間で、「鬼石中しぐさ」を実行することで「人権」について改めて考えてみてください。そして、お互いの「人権」を守るためにできることを態度や行動に表して下さい。

昨年度は相手を思いやり、お互いが気持ちよく過ごすための行動を「鬼石中しぐさ」と命名し、全校で実行しました。今年度は、相手を大切にできる人になれるよう、「五事を正し良知を磨く」ことを目指す姿とし、磨かれた良知をもとにして、相手を大切にできる行動を「新鬼石中しぐさ」として、これを期間中に徹底して実行することを期間中の行動目標としました。2週間の取組を通して、生徒たちは、お互いの人権を守るためにできることを、態度や行動に積極的に表そうとしていました。期間中に高めた人権意識を今後も継続し、相手を大切にできる心を積極的に行動に表し続けてほしいと思います。